

## もくじ

1. 不思議の国のアリス ..... 2
2. ピノキオ .....34
3. クリスマスキャロル .....74
4. 七つの星 ..... 110
5. シンドバッドの冒険 ..... 126

# ふ し ぎ くに 不思議の国のアリス

原作： ルイス・キャロル

イラスト： せきぐち よしみ

編集： YellowBirdProject

ある夏の暑い日。

アリスはお姉さんと一緒に、水辺の木の下に座って、本を読んでいた。

「あ～あ、たいくつ過ぎて眠くなっちゃったわ。  
なにか面白いことがないかしら」

すると、大きな時計を抱えた一匹のウサギが、アリスの前を  
かけぬけていきました。

「たいへんたいへん！お茶会におくれちゃう！急げ急げー！！」

ウサギは、木の根っこに空いていた、穴の中に飛び込みました。

「こんなところに穴が空いてる。それに、言葉をしゃべる  
変なウサギ。・・あのウサギさんを追いかけたら、  
なにか面白いことが見つかるかもしれない！」

そう考えたアリスは、ウサギの後を追いかけて、穴の中に飛び  
込みました。



「さあさあ、よってらっしゃい、見てらっしゃい！」

ひとり うご まほう にんぎょう いと  
一人で動く魔法の人形だ！どこにも糸はついてないよー！」

ぶたい うえ た さいしょ わ  
舞台の上に立たされたピノキオは、最初は分けがわからずに  
とまどっていましたが、楽しい音楽と、観客のうれしそうなお顔を  
み じぶん たの みて、自分もだんだん楽しくなってきました。そして気がつくと  
ピノキオは、音楽に合わせて踊り出していました。

ピノキオは客席からわき上がる拍手に、ますます気を良くして、  
さいご おど うた うた  
最後には踊りながら歌まで歌っていました。

ぶたい お かんきやく だん  
舞台が終わり、観客がみんないなくなると、サーカス団の  
だんちょう なか つ  
団長が、ピノキオをサーカスのテントの中に連れていきました。

つか かせ  
「お疲れさん。おまえのおかげで、たんまりと稼がせてもらったぜ。  
あした はたら  
さあ、明日もしっかり働いてもらうぞ」



なんじかん みず さが もり なか ある まわ  
 ナタリーは何時間も、水を探して森の中を歩き回りました  
 いてき みず み  
 が、一滴の水も見つかりませんでした。

つか き かぶ こし お ひとやす  
 疲れたナタリーは、切り株に腰を下ろし、一休みしていま  
 した。

そら みあ くろ え ぐ ぬ そら  
 ふと空を見上げると、黒い絵の具で塗りつぶしたような空  
 きんいろ ちい ほし ひか  
 には、金色の小さな星が、きらきらと光っていました。

すこ あいだ うつく み  
 ナタリーはほんの少しの間だけ、その美しさに見とれて  
 いました。

い はや みず み  
 「・・・さあ、行きましょう。早くお水を見つけないと」

て た あ  
 ナタリーは、ひしゃくを手に立ち上がりました。すると。

